

## 日本エム・イー学会平成13年度第1回理事会議事録

日時：平成13年5月9日（水） 12:00～13:00

会場：名古屋国際会議場1号館会議室135（第40回日本エム・イー学会大会時開催）

### <出席者>

会 長：佐藤俊輔  
理 事：稲田 紘，梶谷文彦，菊地 眞，北島 顕，楠岡英雄，佐藤正明，土肥健純，  
保坂栄弘，堀 正二，南谷晴之，山本克之  
監 事：千田彰一，戸川達男  
理事候補者：安藤譲二，荻野和郎，神谷 暲，辻岡克彦，仁田新一，星宮 望  
大 会 長：鳥脇純一郎（第40回），内山明彦（第15回秋季），高橋 隆（第41回）  
特別委員長：岡田正彦（論文誌）赤澤堅造（HP）  
支 部 長：木竜 徹，寺本 滋，山内一信  
名 誉 会 員：渥美和彦  
幹 事：野村泰伸  
事 務 局：高柳 建

### <欠席者>

副 会 長：上野照剛，辻 隆之  
理 事：菅 弘之，林紘三郎，半田康延，松尾裕英

1. 理事会成立が確認された。
2. 平成12年度第5回理事会議事録（13-1-2）が一部訂正のもとで承認された。
3. 会員：入退会希望者リストが回覧され，これらについて全件を承認した。この結果，正会員増減無しで3,622名，準会員5名増で294名となった。維持会員の数は，変動なしで36社58口である（13-1-3）。
4. 楠岡理事より，学会費長期滞納者（含む住所不明者）に関して，その数が報告され，これまで行われてきた努力と財政面に与える影響の説明がなされ（13-1-4），今後の対策が議論された。4年以上の滞納者には督促状を送った上で除名とする（これによって年間100万円程度の経費削減が可能）などの案が出されたが，厳しい対応の功罪両面を検討する必要があるので継続審議とした。
5. ME技術教育：稲田理事より，ME技術教育委員会名簿の案が提出され，承認された（13-1-5）。また，今年度の1種・2種ME技術実力検定試験および講習会の予定が報告された。
6. 財務：保坂理事より，平成12年度収支決算と監査報告書が提出された。また，平成13年度収支予算案が提出され，承認された。特に，本年度に行われる会員名簿作成のための予算計上があることが説明された（13-1-6）。尚，稲田理事より，名簿販売を行うかどうかに関する質問があり，これまで通り行うとの返答がなされた。
7. 総務：楠岡理事より，平成13年度のME学会会務分担案が提出され，承認された（13-1-7）。
8. 総務：楠岡理事より，名誉会員になれる江部充先生，小谷誠先生，松尾裕英先生（前回理事会で承認）に対して，平成13年度通常総会において名誉会員記が授与されることが報告された（13-1-8）。引き続き，本学会の顧問に関して議論された。特に，会規上は，顧問の任期は2年とされているが，実際上の適用は曖昧である点が指摘され，今後，理事懇談会等の場で顧問の役割等を明確にしていく方針が示された。
9. ME研究推進：梶谷理事より，NIHにおけるBECONがNational Institute of Biomedical Imaging and Bioengineering (NIBIB, Active Director: Donna J. Dean)として発足したこと，日本学術会議の上部団体であるInternational Council for Scientific Union (ICSU) に国際ME学会，生理学会のジ

ョイントでフィジオームに関する研究推進の提案がされたこと、4月に神戸で開催された国際セミナー(In Silico Techniques in Pharmaceutical Research and Development)に関する報告がされ、ME学会は薬理学会や生理学会と協力して、フィジオームの推進をしていく旨などが報告された。これに関連して、渥美名誉会員から、学術会議に生命医工学・BECON・フィジオーム小委員会が6月19日からスタートすること等が報告され、フィジオームにおける産官学の連携の重要性が強調された。

10. ME用語辞典：内山ME用語辞典編集委員長より、日本エム・イー学会により編纂されたエム・イー用語辞典に関して、原稿料を学会に寄付した方の人数と総額、現在までの販売数等が報告された(13-1-10)。
11. 第40回大会：鳥脇大会長より、第40回大会(開催中)の演題数、参加者数等と共に順調に運営が進んでいることが報告された。
12. 第15回秋季大会：2001年12月4,5日に早稲田大学国際会議場で開催予定の第15回秋季大会の準備状況が内山大会長から報告された。メインテーマは「医用工学の最前線とその進路」、またいくつかのオーガナイズドセッションが企画される予定であることが報告された(13-1-12)。
13. 第41回大会：2002年5月9~11日に国立京都国際会館で開催予定の第41回大会の準備状況が高橋大会長から報告された。特に、論文集のCD化について検討され、基本的にはCD化を行う方向で進めるが、CD化の問題点を明確にし、今後その対応策を検討することとなった(13-1-13)。大会URLは以下：<http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/me2002/index.html>
14. その他：赤澤広報委員長から、ME学会HP内容の充実化の努力を続けている旨の報告がなされた。

(配布資料)

平成13年度第1回理事会議題

- 13-1-2 平成12年度第5回理事会議事録(案)
- 13-1-3 平成12年度第4回理事会入退会審査対象者
- 13-1-4 日本エム・イー学会会費長期滞納者数
- 13-1-5 ME技術教育委員会委員名簿(案)
- 13-1-6 収支計画書、監査報告書、平成13年度収支予算案
- 13-1-7 日本エム・イー学会平成13年度会務分担(案)
- 13-1-8 日本エム・イー学会平成13年度新規名誉会員
- 13-1-10 エム・イー用語辞典について
- 13-1-12 第15回日本エム・イー学会秋季大会・準備状況
- 13-1-13 論文集のCD化について